

令和7年度普及指導計画の概要

美里農業改良普及センター

地域普及指導基本方針(令和3年度～令和7年度)

1 地域農業を支える経営体の育成

(1) 地域農業を支える担い手の経営安定化支援

- イ. 関係機関と連携した集落営農組織等の法人化への誘導と経営の高度化支援
- ロ. 農地中間管理事業の活用等による入・農地プランで位置づけられた中心経営体への農地集積・集約化及び経営体質強化支援
- ハ. 認定農業者の育成と経営改善に取り組む農業者等の目標達成に向けた取組支援
- ニ. 組織経営体等における円滑な経営継承支援

(2) 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援

- イ. 新規就農者、就職希望者、新規参入者等の新たな担い手の確保及び就農者の育成・定着化支援
- ロ. 農業主、研修施設等との連携による新規就農者等の情報・知識・技術習得支援
- ハ. 女性が主体的に取り組む農業経営の推進及び就業環境整備に向けた家族経営協定締結等の取組支援
- ニ. 企業等の農業参入や参入企業の定着に向けた取組支援
- ホ. 多様な働き手(外国人等雇用を含む)の確保・育成に向けた働きやすい環境づくりや農福連携の取組支援
- ヘ. 農村青少年クラブや生活研究グループ等の組織活動の運営支援

(3) 先進的経営体の育成や経営の高度化支援

- イ. アグリビジネス経営体の育成と経営規模の拡大、経営の多角化等の取組支援
- ロ. 農業生産工程管理(GAP)導入による経営改善の取組支援
- ハ. 経営管理能力向上による経営体質強化の取組支援

2 水田フル活用による土地利用型農業の収益性向上と園芸・畜産の振興

(1) 水田フル活用による先進的な水田農業の確立

- イ. 良質米産地としての主食用米の安定収量確保の推進と新品種の生産技術確立支援
- ロ. 地域合意による団地化及び基本技術の徹底と新技術等の導入による麦・大豆の高位安定生産と収益性向上支援
- ハ. アグリテックの普及推進による農業経営の効率・低コスト化支援
- ニ. 土地利用型経営体における高収益作物等への導入及び機械化一貫体系の定着化等支援

(2) 園芸振興と園芸産地の育成支援

- イ. 野菜、果樹、花き等の園芸産地の維持・発展に向けた取組支援
- ロ. 企業的園芸経営体の多様な生産・流通・販売の取組支援
- ハ. 施設園芸における環境制御技術の導入・推進及び栽培管理技術の高度化支援
- ニ. 地域特産の野菜等の高位安定生産技術の確立と定着化支援

(3) 畜産経営の安定化支援

- イ. 先進的畜産経営の推進と規模拡大による収益力強化支援
- ロ. 高品質自給飼料作物の生産及び有効活用支援
- ハ. 繁殖基盤の強化及び飼養管理技術向上支援

3 マーケットに対応した農畜産物の安定供給

(1) 需要の変化に対応した生産・販路、販売の拡大

- イ. 市場、産直、加工業務等の多様な販売チャネルに対応した販売体制等の構築支援
- ロ. 実需者が求める高品質農畜産物の生産・加工・流通における高付加価値化等の取組支援
- ハ. 地域資源の掘り起こしや地域食材を活用した商品開発、特産品の創出等支援

(2) 安全・安心な農畜産物生産の取組支援

- イ. 農業生産工程管理(GAP)認証、トレーサビリティ実践等による安全安心な農畜産物の生産及び管理等支援
- ロ. 農薬の適正使用推進
- ハ. 農畜産物の放射性物質のモニタリング調査及び迅速な情報提供

(3) 食と農に関する農業者と消費者の相互理解の推進

- イ. 食育や消費者交流等の取組支援
- ロ. 農業体験や農泊等を通じた都市と農村の交流促進へ向けた取組支援

4 持続可能な農業・農村の構築

(1) 環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援

- イ. 耕畜連携の取組の推進と定着化支援
- ロ. 総合的病害虫・雑草管理技術(I PM)技術等の導入と定着化支援
- ハ. 環境保全型農業を実践する農業者の技術習得支援

(2) 地域特産物等のブランド化や所得確保による地域活性化支援

- イ. 地域資源、地域特産物のブランド化による農業所得の確保・向上支援
- ロ. 関係機関と連携した地域特産物等の生産技術の習得や雇用創出等に向けた取組支援

(3) 大規模自然災害、異常気象等に対応した安定生産支援

- イ. 地球温暖化等の気象変動に対応した品種の選択や生産安定化技術の取組支援
- ロ. 被災地等における農作物の安定生産に向けた栽培管理支援
- ハ. 農地の汎用化等、自然災害等の被害軽減に向けた基盤整備等への取組支援
- ニ. 農業収入保険への加入促進等、災害に備えた経営リスク軽減への取組支援

(4) 関係機関との連携による地域農業の維持・発展支援

- イ. 世界遺産「大崎耕土」の巧みな水管理による水田システム等の魅力発信等の取組支援
- ロ. 野生鳥獣被害防止対策の普及啓発等の取組支援
- ハ. 遊休農地(耕作放棄地)の有効活用等の取組支援
- ニ. 条件不利地における生産性向上等の取組支援

令和7年度 普及指導方針

1 地域農業を支える多様な経営体等の確保・育成

- (1) 設立間もない法人組織等の経営強化支援
- (2) 農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化の取組支援
- (3) 集落営農組織等の法人化や、法人間連携・合併支援
- (4) 認定農業者の経営改善の取組支援
- (5) 農業生産工程管理(GAP)の導入及び経営の高度化の取組支援
- (6) 女性農業者の育成及び就業環境の整備等支援
- (7) 新規就農者の定着化及び就職希望者の経営計画樹立等支援
- (8) 農業経営の円滑な事業・経営継承に向けた情報提供

2 水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立

- (1) 水田フル活用ビジョンの推進による水田農業の活性化支援
- (2) 土地利用型作物のICT技術等活用による省力化や効率化の取組支援
- (3) 金のいぶき、吟のいろは等の多彩な米づくり支援
- (4) 主要農作物種子の安定生産の取組支援
- (5) 土づくりや土壌環境改善等による農作物の収量及び品質向上の取組支援
- (6) 土地利用型の加工・業務用野菜(青ねぎ、ばれいしょ、たまねぎ、にんじん、さつまいも等)の導入促進と安定生産支援

3 地域の特性を活かした園芸、畜産の生産振興

- (1) 主要葉茎菜類(こねぎ、ほうれんそう等)の安定生産支援
- (2) 施設園芸の安定生産に向けた支援と環境制御技術等の導入及び栽培管理技術の高度化の取組支援
- (3) 産地の維持・発展に向けた新技術等の普及及び定着支援
- (4) 土壌分析に基づく適正施肥管理の取組支援
- (5) 畜産経営における収益力強化の取組支援
- (6) 6次産業化等による経営の多角化の取組支援
- (7) 安全・安心な農畜産物の供給支援

4 持続可能な農業・農村の構築

- (1) 耕畜連携の取組の推進と定着化の取組支援
- (2) 総合的病害虫・雑草管理技術等の導入と定着化支援
- (3) 地域資源、地域特産物のブランド化に向けた取組支援
- (4) 農業収入保険への加入等、経営継続のためのリスク管理への取組支援
- (5) 自然災害等からの復興支援
- (6) 生活スタイルの変化等に対応した生産・販売等の取組支援
- (7) 環境に配慮した生産に取り組む農業者等への技術支援

※アグリテック

農業にICT(情報通信技術)等のテクノロジー(技術)を導入することで省力・軽労化を図るなどの課題を解決すること

令和7年度 普及指導計画

プロジェクト課題

重点活動

No. 1 (継続課題)

土地利用型法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開
(R5～R7)

【園芸振興】
【みどりの食料システム戦略】関連課題

【対 象】
(農)おのおぬみ彩土里ファーム
役員6人
(大崎市田尻)

No. 2 (継続課題)

「北浦梨」産地の活性化に向けた、ICT活用による栽培の「見える化」
(R6～R8)

【園芸振興】【アグリテック】関連課題

【対 象】
JA新みやぎ北浦梨部会
若手生産者1人、
役員等3人(部会員35人)
株式会社ファームおてんとさん
栽培担当者2人
(美里町)

No. 3 (継続課題)

堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量向上
(R5～R7)

【耕畜連携】関連課題

【対 象】
涌谷町麦類生産者 14経営体
(涌谷町)

生産技術や経営管理能力の向上、担い手の育成や農村地域の振興等を幅広く支援する普及センター活動のうち、県の重点施策や、重要かつ緊急の課題について、重点活動として取り組む。
令和7年度は、県の指定課題「新たな担い手・女性活躍」「地域計画」に加え、普及センターとして、選択課題のうち「園芸振興」「農業経営管理」「地域実情」を重点活動として設定する。

重点活動1
新規就農者の確保・育成に関する取組
(新たな担い手・女性や多様な人材の活躍)
【対 象】
新規就農者、農業研修生、教育機関、学生

重点活動2
持続可能な土地利用型園芸作物の安定生産
(園芸振興)(アグリテック)
【対 象】
農事組合法人みらいす青生、株式会社おいかわ、JA新みやぎさつまいも研究会、露地園芸作物生産法人 等

重点活動3
地域農業担い手の経営発展に関する取組
(農業経営管理)(地域計画)
【対 象】
経営発展を志向する経営体

重点活動4(新規)
緑肥活用による大豆作柄向上(みどりの食料システム戦略)
【対 象】
管内大豆生産者

重点活動5
ニーズに対応した特色ある米づくりの取組支援
(地域実情)
【対 象】
「金のいぶき」生産者
松山町米研究会